

# 腹部血管造影検査を受けられる方へ



## 腹部血管造影検査とは

- カテーテルという細い管を動脈（主に右足のつけねの鼠径部（ソケイブ））に挿入し、その管の先端を腹部のいろいろな臓器の血管に進めて造影剤を注入し、X線撮影を連続的に撮影する検査です。
- 肝臓を栄養している動脈、腸を栄養している動脈、腸から肝臓に流れる門脈という血管が主です。
- それらの血管のうち、がんを栄養している血管を詰めたり（塞栓）、出血している血管を詰める治療をなうことがあります。

## 検査にかかる時間

- 検査時間は約1時間～2時間、治療などを行う場合4時間程度かかる場合があります。
- 1つの血管を写す場合、数秒（10～30秒程度）の息止めをしていただきます。

## 検査の注意点

- 妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず診察時に担当医師にお知らせください。

### 検査前

- 検査着を着て、カテーテルを挿入する部位を消毒します。
- いろいろな器材が不潔にならないよう、滅菌した布をカラダに覆います。

### 検査中

- 局所麻酔をする時に、軽い痛みをとまいます。
- 撮影時には、息止め・静止の指示（合図）に従ってください。
- 造影剤を注入すると、全身が熱く感じますが、心配しないでください。もし気分が悪くなりましたら、すぐにお知らせください。

### 検査後

- 検査終了後、カテーテルを抜いたあと、止血をします。（10～20分）
- お部屋に戻った後も、ベルトで圧迫したまま数時間ベッド上で安静にさせていただきます。

### 禁忌事項

- 事項に該当する方は、検査できない場合があります。
  - ・ 事前に担当医師にご確認ください。
  - ヨード過敏症・腎不全・気管支喘息・出血傾向・発熱・凝固異常など